

プログラム

学会テーマ「多様性と協働が紡ぐ未来の看護職」

第1会場

口演・シンポジウム・講演会

9:50～ オリエンテーション
10:00～ 開会式(第1会場)
15:45～ 閉会式(第1会場)

10:25～11:00

第1群 <看護実践①> 3題

座長 亀井 美穂(学校法人東海大学 東海大学医学部付属病院)

1	集中治療室において看護師による膀胱POCUSをきっかけに腎後性腎不全が改善した1症例	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター 山田 美拓
2	集中治療室における看護師による消化管POCOSの活用に関する1症例の検討	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター 櫻井 真帆
3	急性期における大腿骨近位部骨折手術療法患者の低栄養と離床の相関調査	医療法人ユーカリ さがみ林間病院 岡田 真奈

❖シンポジウム❖ 開催時間 11:20～12:20

テーマ「外国人職員との協働の舞台裏」

座長 渡邊 輝子(社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院 看護部長)

シンポジスト:稲垣 喜一(公益社団法人 国際厚生事業団 受入支援部 部長)

:福石 牧子(医療法人横浜博萌会 西横浜国際総合病院 看護部 教育課 課長)

:レーティハオ(医療法人五星会 菊名記念病院 看護部)

* 12:30～13:20 ランチョンセミナーのスライド・音声配信

❖講演会❖ 講演時間 13:30～14:50

テーマ「多様性の力と協働の鍵

～ウェルビーイングとポジティブ・マネジメント～

講師 手島 恵

学校法人青葉学園東京医療保健大学 副学長

看護学研究科長・教授



15:00～15:45

第2群 <がん看護> 4題

座長 折内 奈津江(国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院)

4	急性骨髄性白血病初発患者の障害受容過程～エンパワーメントの概念を用いた一考察～	学校法人東海大学 東海大学医学部付属病院 岩田 唯
5	がん終末期患者が望む療養先への移行につながった一般病棟でのチームアプローチにおける要因	学校法人昭和大学 昭和大学保健医療学部看護学科 学校法人昭和大学 昭和大学病院附属東病院 古川 浩次
6	肺癌終末期患者の呼吸困難に対する看護師の困難感	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 伊藤 綾子
7	ホスネットピタントの使用経験	社会医療法人財団石心会 第二川崎幸クリニック 田邊 真由美

10:25～11:10

第3群 <看護管理・教育> 4題

座長 山岡 澄代(茅ヶ崎市立病院)

8	コロナ禍に学生時代を過ごした新人看護師のやりがいについて	医療法人社団康心会 茅ヶ崎新北陵病院 小日向 渚
9	病棟看護師のDESIGN-Rの適切な評価に関する実態調査	学校法人帝京大学 帝京大学医学部附属溝口病院 中島 千明
10	看護師の感情労働に対するカンファレンスの有用性	学校法人東海大学 東海大学医学部附属病院 濱谷 幸希
11	A 病院における外来看護師の患者接遇の状況～看護師と患者評価による認識の比較検討～	医療法人社団葵会 AOI 国際病院 米沢 萌

11:20～11:55

第4群 <看護実践②> 3題

座長 堀内 利枝(独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター)

12	病棟看護師が期待する術前オリエンテーション	地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立こども医療センター 狩野 宏美
13	患者のインフォームド・コンセントを支援する場における看護師らの困難感と対処	学校法人東海大学 東海大学医学部附属病院 齋藤 玲奈
14	退院支援スクリーニングシートの看護計画への活用と課題	医療法人社団銀緑会 みどり野リハビリテーション病院 徳野 諒子

❖ランチョンセミナー❖ 開催時間 12:30～13:20

テーマ 「人生100年、多様性の時代に備えて

～社会保障・年金セミナー～

講師 市川 量一
知新社 代表

協賛企業 明治安田生命保険相互会社 神奈川本部

* 13:30～14:50 講演会のサテライト中継

15:00～15:45

第5群 <感染・リスクマネジメント> 4題

座長 和田 幸子(医療法人社団神愛会 オアシス湘南病院)

15	手指消毒剤使用量の低い部署における取り組み～問題の本質を明らかにすることの重要性～	学校法人聖マリアンナ医科大学 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 糸 聖也
16	医療療養病床における身体拘束解除後の看護実践	医療法人社団元気会 横浜病院 桐ヶ谷 政美
17	術後せん妄に対する早期介入～インシデント・アクシデント減少への取り組み～	医療法人社団徳寿会 相模原中央病院 鹿又 さつき
18	鎮静下での上部内視鏡検査を受けた患者の安静解除基準の検討～安全な帰宅判定を行うために～	医療法人興生会 相模台病院 武田 佑佳

10:25~11:10

第6群 <リスクマネジメント> 4題

19	インカムを使用したA病棟の身体拘束最小化に向けた取り組み~情報共有による迅速な患者対応~	医療法人社団徳寿会 相模原中央病院 有賀 葉子
20	患者が看護師に頼みにくい環境と頼みやすい環境の相違~転倒防止の環境づくりに向けて~	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 丸山 満帆
21	回復期リハビリテーション病棟における個別性のある排泄誘導方法~転倒減少を目指して~	医療法人社団明芳会 江田記念病院 由佳
22	ピクトグラム導入による患者安静度の共通認識を目指した業務改善の取り組み	社会医療法人社団三思会 東名厚木病院 紺野 清暉

11:30~12:25

第7群 <看護管理> 5題

23	COVID-19 感染拡大に伴い繰り返した病棟再編成に対する取り組み	厚木市立病院 河内 美樹
24	ユニット形式の急性期混合病棟における看護師の就業継続に関わる要因~長期間、就業継続している経験採用者へのインタビューから考察する~	医療法人横浜未来ヘルスケアシステム 戸塚共立第2病院 渥美 洋平
25	A病棟における看護業務量の実態	医療法人社団藤和会 厚木佐藤病院 宮田 祥明
26	入院支援部門における医師事務作業補助者との連携~Patient Flow Management 強化の側面から考える~	公立大学法人横浜市立大学附属病院 山口 彩華
27	分娩を取り扱う施設に求められる産後ケア事業における役割	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 比嘉 美保

15:00~15:45

第8群 <看護教育> 4題

28	正しいマスクフィッティング手技定着のための効果的な勉強会の検討~回復した学習機会を得ることによる手技統一の改善~	学校法人帝京大学 帝京大学医学部附属溝口病院 永峰 奈美
29	手術室と病棟のより良い情報共有を目指して~術中使用物品・麻酔に関連した勉強会を行った効果~	医療法人社団協友会 金沢文庫病院 竹森 瑛美
30	救急ICUの臨床指導者が取り組んだ臨地実習指導による学生の学び~看護学生の実習記録からの考察~	藤沢市民病院 東 弘子
31	看護専門学校における社会人基礎力を活用した取り組み	神奈川県立よこはま看護専門学校 西澤 恵美子

10:25~11:20

第9群 <看護実践①> 5題

32	予後について問いかける未告知の患者との関わりを通して~看護師が抱く気持ちの考察~	社会医療法人財団互恵会大船中央病院 梅津 由依
33	終末期がん看護におけるコミュニケーションスキルの分析	医療法人誠医会 宮川病院 米澤 咲恵
34	認知症ケアが必要な頸髄損傷者のADL向上の関わり	社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団 神奈川リハビリテーションセンター 神奈川リハビリテーション病院 丸山 大志
35	永久的人工肛門を受容するまでの患者の心理的変化と外来での役割~強固な癒着により人工肛門閉鎖術が完遂出来なかった事例を通じて~	社会医療法人財団石心会 第二川崎幸クリニック 重松 文絵
36	病棟看護師の退院支援スクリーニングシートに対する意識調査と課題 退院支援システムの確立に向けて	医療法人興生会 相模台病院 大塚 恵美

15:00～15:45

第10群 <看護実践②> 4題

37	手術室看護師が術後疼痛管理チームに参加をすることによる意識の変化	JA 神奈川県厚生連 伊勢原協同病院 遠田 明由美
38	A 病院の ICU 看護師の術後疼痛に対する鎮痛薬使用・薬剤選択の判断の実態	地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立循環器呼吸器病センター 荒川 幸浩
39	コロナ禍での面会制限が家族に与えた影響	医療法人社団山本記念会 山本記念病院 田中 知恵子
40	療養型病院における面会制限時の医療に対する実態調査～家族と医療者へのアンケート調査から見えたもの～	医療法人社団明芳会北小田原病院 池田 宏昭

10:25～15:45

神奈川県看護協会から発信！

神奈川県看護協会の主な事業や取り組みについてポスター掲示を通して紹介するコーナーです。

協会の事をもっと知っていただき、もっと参加していただきたい！ぜひ、気軽に立ち寄って、私たちの活動に触れてみてください！

ポスター掲示

- ❁ 川崎から発信 経験を活かして次のステージへ川崎支部
- ❁ 看護管理者が学ぶ労務管理の研修アンケート結果から、
看護管理者が「健康で安全な職場づくり」のための労務環境改善の要素を明らかにする
.....社会経済福祉委員会
- ❁ 看護補助者の職業紹介はじめました～より良い看護チームを作ろう～.....神奈川県ナースセンター
- ❁ 神奈川県に制度・予算要望を行いました.....企画運営課
- ❁ 新時代を切り拓くリーダー育成をめざします研修課 認定教育班
- ❁ “訪問看護”という選択で、未来をつくる.....訪問看護課
- ❁ 神奈川県看護協会 災害救護対策委員会 活動紹介
「地域住民への減災出前講座の効果～過去の受講者アンケートからの分析～」.....危機管理課

第4会場

10:15～12:10 14:30～15:25

看護研究なんでも相談コーナー

学会参加者の方を対象に、看護研究に関する様々な相談や質問に講師がお答えいたします。

- 取り組んではみたものの行き詰っている…
- 分析方法の妥当性や考察に不安がある…
- 対象者の選定や倫理的配慮ってどうするの？
- 研究計画書の作成や記載時の注意点 等

例えば…
このような悩み

《講師》 下村 晃子

(学校法人松蔭学園 松蔭大学 看護学部 准教授 / 慢性疾患看護専門看護師)

《相談コーナーの利用について》

- ❖ 相談時間: 1グループ 20～25分程度
- ❖ 相談時間枠: [A]10:15～ [B]10:45～ [C]11:15～ [D]11:45～ [E]14:30～ [F]15:00～
- ❖ 利用方法: [事前申込] 下記の必要事項①～⑦をご記入のうえ、E-mailにてお申込みください。

- ①氏名(代表者1名のみ) ②参加人数(代表者以外の人数) ③施設名 ④施設電話番号 ⑤E-mail アドレス
⑥希望する時間枠(上記相談時間枠より第2希望までお選びください) ⑦相談内容(簡潔に記入)

E-mail : kensyu@kana-kango.or.jp 締切:2024年11月22日(金)

*学会の事前参加申込が必要です。ご注意ください。

*申込後、1週間以降も返信がない場合にはお問合せください。

[当日申込] 第4会場内 **研究コーナー受付** にて、9:30～受け付けます(事前申込優先、先着順)

12:20～13:20

看護研究ミニ支援講座

これから看護研究をやってみようと思っている方や取り組んでいる方、また、再度基本から学んでみようと思っている方、60分間のミニ講座に参加してみませんか。今回のテーマは、看護研究の基本的な流れおよび研究計画書の作成について、研究で求められる倫理について取り上げます。みなさまのご参加をお待ちしています。

《講師》 下村 晃子

(学校法人松蔭学園 松蔭大学 看護学部 准教授 / 慢性疾患看護専門看護師)

《看護研究ミニ支援講座の参加について》

- ❖ 定員: 座席20名程度/立見5～10名程度(先着順)
- ❖ 参加方法: 開始時刻までに、直接ご来場ください。

10:25～15:45

活動紹介・相談コーナー

診療報酬改定で加算対象として注目される<身体拘束の最小化>、タスクシフトとして<看護補助者との協働>について取り上げ、すぐれた実践で先行する施設での取り組みをご紹介します。

【活動発表】時間 11:15～12:15

- 11:15～ ①身体拘束の最小化「患者中心の身体拘束の最小化と日常生活へのアプローチ」
医療法人社団厚済会 横浜じんせい病院 看護師長 萩原 由里子
医療法人社団厚済会 横浜じんせい病院 伊藤 いずみ
✿ 質疑応答
- 11:45～ ②看護補助者との協働「看護チームとしての体制、教育、人事管理」
医療法人社団武蔵野会 牧野リハビリテーション病院 看護部長 牛丸 良子
✿ 質疑応答

【パネル展示】時間 10:25～15:45

施設の紹介および活動概要について

- ①医療法人社団厚済会 横浜じんせい病院
- ②医療法人社団武蔵野会 牧野リハビリテーション病院

【相談コーナー】時間 10:25～11:00 13:30～15:45

活動に関連した疑問や悩みの相談に応じますので、どうぞお気軽にお声かけください。

- ① 身体拘束の最小化について
医療法人社団厚済会 横浜じんせい病院 看護師長 萩原 由里子
- ② 看護補助者との協働について
医療法人社団武蔵野会 牧野リハビリテーション病院 看護部長 牛丸 良子